

2019年第2回運営委員会議事録

日時：2019年10月27日（日）10：00～12：00

場所：アカデミー千石

出席者：

（加盟団体）大塚小、駕籠町、窪町、駒本、水道、千石第一・第二、第三中、白山東、久堅、向丘、茗台、目白台、目白台第二、柳町第二、本駒込、本郷、OB父母のつどい、児童館分会、白山東児童館親の会

（区連協役員）越野、瀬戸、早乙女、喜納、下村、山口、森部、菅谷、牛嶋、伊藤

司会：越野

【配布資料】

- ・議事次第
- ・資料1 繰越金の推移とその背景
- ・資料2 陳情書・要望書
- ・資料3 「夢の育成室」絵画コンクールについて

【今後の予定】

- ・11/4（月・振休）13：30～16：00 OB 父母のつどい主催
「卒室するってどういうこと？」座談会開催 @区民センター2B 会議室
- ・11/24（日）10:00～14:00 OB 父母のつどい主催
凧上げ&芋煮会 @荒川水門 BBQ サイト
- ・1/17（金）19:00～ 運営委員会
- ・2/7（金）19:00～ 第1回運動会実行委員会

【議題】

1、新規加盟団体と役員会への追加立候補についての承認

役員追加立候補：牛嶋さん

⇒拍手にて承認

新規加盟団体：白山東児童館親の会

子どもたちのためのイベントを年に数回行っている。

区連協に加盟して活動の幅を広げていきたい。

⇒拍手にて承認

2、区連協加盟費についての説明および質疑 ……資料1-1、1-2

役員 瀬戸

区連協加盟費について、今日のご意見をお伺いしたいと思います。前回のお話を簡単に振り返ります。会則では団体会員4,000円以下、個人会員1,000円以下となっています。実際の毎年の加盟費は総会で決定されますが、2015年度以降は団体会員1,0

00円、個人会員500円です。過去に遡りますと2013年度までは団体会員4,000円、個人会員2,000円でした。2014年度になぜ変えたかについては、繰越金についての資料1-2をご覧ください。バザーとぶんこうけんが区連協の特別会計になっていたのですが、それぞれ独立した別会計となりました。そして加盟費は年間10万円位の活動費を団体数で割って1団体1,000円としました。しかし、現状は余剰金を取り崩して運用しており、資料1-2の裏面の通り、このままいくと数年後には余剰金が無くなり赤字になってしまいますので、元に戻していく必要があるということで、年会費見直しのご提案に至った次第です。

支出を抑えるという面については、年間10万円が無駄に使っている訳ではないので、元々十分乾いた雑巾なのですが、それでももう少し絞って支出を抑えていくというのがひとつです。ただし、これは限界がありますので、収入増も必要になります。収入は加盟費×会員数なので、加盟団体を増やすのがひとつです。役員会でも未加盟または脱退された父母会への呼びかけは行なっておりますが、これは時間がかかります。従って、加盟費を元の水準に戻すことも選択肢となってきます。

各父母会さんでは、次年度の予算承認が必要になると思いますので、合意が得られやすい形にしていく事が大事だと思っています。前回、加盟費を元に戻していくプランとして一気に戻すプランと段階的に戻すプランのふたつをご提示しました。このプランでどうなるかのシミュレーションを資料1-2の裏面に示しております。

次に手順ですが、来年6月の総会での決議事項になりますが、4月の運営委員会では人も入れ替わっていますので、少し早めの来年の1月の運営委員会で概ね合意しておきたいと思っています。

個人会員の加盟費については、1,000円以下となっています。個人会員は、実際のところ区連協の活動に賛同して下さり、カンパして下さっている、いわば賛助会員であって、個人会員の方からも以前の2,000円以下に戻しても良いのではないかという意見があがっていますので、その様に戻したいと思っています。本件は、会則変更が伴いますのでご意見があれば頂戴したいと思います。

会長 越野

1月の運営委員会には各父母会の意見を持って来ていただいて決めたいので、各父母会で議論するにあたり必要なことは今日聞いておいてください。

柳町第二育成室

資料1-1を見ると毎年10万円弱位支出していますが、シミュレーションでは支出が15万円となっています。理由を教えてください。

役員 瀬戸

固定費と変動費を厳密に分けて算出することが難しいので、感覚的な部分もありますが、加盟団体が増えた時にこれだけあれば足りるだろうという金額にしています。

柳町第二育成室

分かりました。5万円ということは加盟団体が10も20も増える前提だと思いますが、その分加盟費も入ってくるので、シミュレーションからずれてくると思います。シミュレーションは、現状の加盟数での支出をベースとすべきで、今、加盟団体数が19で4,000円ずつ集めれば76,000円、個人会員が15名で2,000円だと30,000円、全体で106,000円となり、ちょうどバランスすると思います。頂いた資料の数字は、すごくネガティブな数字で、だからせめてここまでという風に見えてしまいますが、

私は4,000円と1,000円とか4,000円と2,000円とかという金額が適正なのではないかということを示していただいた方が納得しやすいのではないかと思います。

もうひとつ、加盟費を上げるプランについて、父母会で毎年少しずつ上げるために毎年決議をするのは、面倒に感じます。私は4,000円が適正だと思いますので、来年度から4,000円とするのが、良いのではないかと思います。個人会員は賛助会員のものなのでもっと上げようというのもいいと思いますが、昔の10,000円と2,000円というバランスを考えれば、会則を変えず4,000円と1,000円でも、76,000円と15,000円で91,000円になりちょうどここ3年の平均とピッタリ合います。繰越金もまだ300,000円弱位残ると思いますので、毎年の収支が±10,000円程度であれば10年位は安定して運営できると思います。

役員 瀬戸

ありがとうございます。ひとつ目の話について、予算を作る側としては不透明な部分があるとどうしても厳し目に見てしまう面はありますが、ご指摘はもっともですので、見直しを検討したいと思います。

個人会員の加盟費についてもご指摘の通りですので、検討したいと思います。

千石第一育成室

今回の運営委員会での合意を目指すとのことですが、一気に戻す案と徐々に戻す案が半々だった場合はどうしますか？

役員 牛嶋

今回の運営委員会の2週間位前に各父母会さんにアンケートを取って、運営委員会で資料としてお出しする流れになると思います。

会長 越野

その時点で半々に割れるようでしたら、状況をお伝えして、もう一度検討していただいて、何とか次回1月の運営委員会で決められるように調整したいと思います。

千石第一育成室

分かりました。各父母会でどちらかに決めたとしても、決定は運営委員会で行うので、父母会の結果通りにならないこともあると認識しておいた方が良いのですかね？

会長 越野

はい、1月の運営委員会では決める予定なので、多数決等で決めることになります。今回、たたき台としてふたつの案をご提案していますが、別の案が出ればそれも事前にアンケートで収集の上、ご提示して、それも含めて1月の運営委員会で決めたいと思いますので、よろしくお願ひします。

久堅育成室

父母会に持ち帰ってから、新たな案が出てくることは想定されていますか？

役員 瀬戸

はい、今日も会則は変えず個人会員は1,000円のままという意見も出ていますし、全く上げないことも含めて、どんなご意見でも出していただいてもかまいません。

久堅育成室

今日持ち帰って、各父母会で意見をまとめて、アンケートを取ってそれをまた各父母会にフィードバックされると思いますが、このアンケートを受けての意見統一はどの様にすれば良いでしょうか？

役員 瀬戸

アンケートを収集してお配りするのは年明けになるでしょうから、1月17日の運営委員会までの間に会議はできないと思いますので、役員会に一任するなり、メールやSNS等で決めるなり、各父母会の判断でお願いしたいと思います。

本郷育成室

現状で役員会の皆さんの「推し」はどちらですか？複数案から選択するよりも、「推し」案をメインに他の案もあるけどこういう理由でこの案を推していますがどうですか？という形で決を取った方がスムーズに進むかと思います。

役員 瀬戸

A案の一気に来年度から4,000円に戻す案が「推し」です。

役員 山口

皆さん各父母会の代表として運営委員会に来ていただいていますので、持ち帰った後の各父母会でのご意見はもちろん挙げていただいかまわらないのですが、運営委員会である程度方向性が承認された状態で各父母会に持ち帰っていただくことが、在り方であり、スムーズな進め方ではないかと経験上思います。

会長 越野

個人会費は直接皆さんに関係ありませんので、皆さんが各父母会で意見を集約していただくのは団体会員の加盟費のみでかまいません。

役員 下村

OB父母のつどいの会長をやっていて、区連協の役員もやっている下村です。個人会員になっている方というのはそもそも育成室で現役の時にお世話になって、卒室した後も育成室に恩返しとかお手伝いとか何かしら関わりたいという思いで個人会員になっている人ばかりです。会費に戻す話も全員ウラを取っていますので、議論から外してもらってかまいません。ただ、今後個人会員になりたいけど500円なら入るのに2,000円では…という形でハードルが上がる面はあるかもしれませんが、そもそも団体会費4,000円、個人会費2,000円で回っていて、4～5年前余剰金が多過ぎるからと一時的に下げていたものなので、値上げと言うより元に戻すという感覚を皆さんにも理解していただきたいと思います。

3、行政報告 ……資料2

役員 山口

皆さんに頂いた全体要望は、実務を担当されている児童青少年課の課長宛に、もうひとつ、方針や理念の部分を陳情書として区長宛に提出していますので、内容については皆さんお読みいただき、ご理解くだされば幸いです。全体要望の回答は年内には頂ける予定ですので、1月の運営委員会で役員からご報告したいと思います。要望書をお渡しする際に課長とのお話しして、増室の状況や育成室に関する情報交換もしてきましたのでご報告します。

白山東児童館の前の敷地を文京区で取得して、新しく誠之第二育成室(仮称)を作っています。それから、根津地域で待機児童が多くなっており、そのエリアにもひとつ増設したいということで進めているそうです。

先日の台風で皆さん大変だったかと思いますが、課長からもその点について相談がありました。台風で危険だから学校が休校になっている一方で、仕事を休めない保護者がいるからといって、子どもが台風の中を歩いて帰ってくるのはどうなのかと。

また、今回、交通機関が計画運休になり、子どもが来ていても職員が出勤できないかもしれない、または帰れない状況になる恐れがありました。これまで、そういうことが無い様に指導員の先生が自腹でホテルに前日から泊まって対応してくれていたケースも少なからずあったそうです。私達保護者に働き方改革がある様に、指導員の先生方の働く環境も一緒に考えていかななくてはいけないと感じています。育成室が開いていなくても、そのうち先生が来るからと子どもを置いていってしまったというケースもあったそうで、行政としても何らかの見解が必要だろうと言う背景があり、先日の台風の際に行政から通達があったとご理解いただければと思います。もうひとつ、職員の体制について、全国的には2名以上が従うべき基準であったものが参酌化(参考程度の基準に格下げされた)で必須でなくなる中、文京区は2名を維持しているものの、子どもの数も増えており、このままでいいのかとの意見も出ていました。今の児童青少年課の課長もこの点を危惧されていて、柳町第二と神明と大塚小で3名体制の試験運用を始めたそうです。これを拡大していきたいとのことなので、ご自分の育成室の先生がどういった状況で保育してくださっているかということをご気にいただき、運営委員会や役員に教えていただければと思います。

4、交流「運営委員会の情報をどのように父母会で共有しているか」

会長 越野

皆さん各父母会に戻られて今日の話も情報共有されると思いますが、それぞれどういうやり方で情報共有されているのか交流していただき、いいやり方があれば取り入れることもできるかなと思っております。

大塚小育成室

資料が多いので紙のコピーではなく、PDFをメーリングリストで回す形です。父母会の定例会とタイミングが合えば、議題に取り入れて討議をします。タイミングが合わなければ、メーリングリストで意見収集しています。

駕籠町育成室

駕籠町育成室は定例会が無く、何か議題があれば保護者会の後に話し合いをしますが、1年目は正直よく分かりませんでした。2年目は退室等で区連協係の方がやめてしまい、情報共有できていませんでした。3年目の今年からは区連協の議事録を待たずに簡単なメモを作成してメーリングリストで回しています。全体要望もこのやり方で見ている方からはご意見を頂けています。

茗台育成室

保護者会の後に父母会を開催しており、区連協の係の方から情報を伝えていただいています。

それから、役員の皆さんの努力に感心しました。ありがとうございます。

目白台育成室

まず、区連協委員の中で資料を共有します。その後、委員長、副委員長にも共有して、その2人が方針を決め、ポイントだけまとめて保護者会やメーリングリストで共有する形です。

駒本育成室

運営委員会の後に父母会がある場合は、その時に報告をしています。

向丘育成室

父母会の後に区連協の報告がされています。また、重要な項目は紙などで配布されています。メーリングリストはあまり使われた記憶はありませんが、今回の会費の件などは、区連協係や役員で相談していきたいと思います。

水道育成室

区連協担当からは運営委員会の資料と議事録をお配りして、後は会長の判断が必要なことを情報共有していく流れになっています。

久堅育成室

3年前から紙媒体からメーリングリストに切り替えて情報共有しています。ただ、陳情書やアンケート等重要なものは紙で配布することもあります。また、区連協の係でもメーリングリストがあり、その中で話をつめて、会長や父母会にあげる形です。

千石第一・第二育成室

資料や運営委員会に出席した人が作った議事録をメーリングリストで共有しています。さらに役員会で報告をして、その後の父母会で補足をしています。

本駒込育成室

まだ1年目で、あまりよく分かりません。

柳町第二育成室

メーリングリストと大きなファイルはGoogleDriveを使って共有しています。父母会で報告や議論をしております。

白山東育成室

各学年の区連協係と会長、副会長でSNSを使って共有しつつ、父母会では会長、副会長から発信をしてもらい、話し合いをしています。補足の資料等があればメーリングリストを使って共有しています。

目白台第二育成室

区連協担当は特に置いておりません。音羽育成室ができた影響や出産で辞められる方も多く、昨年度54人いた人数が今年度35人まで減ってしまいました。急に減ったので、財政も人も厳しい状況で、今年度は暫定的に3役で出席して回しています。待機もなくガラガラなのに、制度上、出産して産休が終わったら退室しなければいけないので、このような悲しい状況になっております。

情報共有については、紙の資料をPDF化してGoogleDriveに置いておき、周知事項がある時にリンクを貼って連絡しています。必要に応じてオフラインでも共有していて、特に参酌化の話は、全員にじっくり聴いてもらうために、父母会の際に時間を作って説明やQ&Aを実施しました。

窪町育成室

区連協の情報は3役で取りまとめています。頂いた資料は電子ファイル化して保存しています。LINEを使った雑談が多いのですが、一旦そこで話した内容を父母会でも共有して、必要ならそこで採決する形です。

第三中育成室

フリーMLというメーリングリストを使っていましたが、サービス終了に伴いGoogleのメールに変えることにしました。また、父母会でも情報共有しています。頂いた資料は電子ファイル化していますが、重要なものは父母会で紙でも配布しています。

本郷育成室

Slackを使っており、PDF等の電子ファイルはそこに上げて共有しています。父母会で紙での共有もしており、今のところ特に不自由はありません。

役員 山口

SlackはLINEやショートメッセージ風の対話形式で、ファイルの添付や「いいね！」も付けられます。フリーMLからの移行の選択肢のひとつかもしれません。

役員 菅谷

本郷もそうだと思いますが、グループ分けができるので、全体のグループには全員登録して、各系のグループは係の人だけ登録して、登録したところだけ見られるという形です。区連協係の人は区連協係のグループに登録して、そこで会話をして、必要に応じて全体のグループに上げていくという使い方ができます。

役員 牛嶋

通知も必要なグループだけ通知することができます。

育成室保護者

うちはLINEにしましたが、LINEだと会話が流れていってしまうので、雑談的なトークルームと情報だけを載せるルームを作って運用していくところです。皆さん日常的に使われていて、どのご家庭でも対応できるということでLINEにしました。

役員 山口

前回の運営委員会でも、皆さんにはここでの情報を持って帰っていただいて、なるべく多くの人に關心を持ってもらえるように、アンバサダー役(大使役)をお願いしますというお話をしました。一方で、区連協って大事だと言うけれど何をやっているのか分からないという疑問が毎年あがります。役員会でも色々発信しようとしていますが、皆さんの地元で自分事として受け止めてもらうために、一緒にいい案を出していけたらと思いますので、よろしくお願いします。ありがとうございました。

役員 菅谷

議事録について皆さんのご意見をお聞きします。今は会議の全文を起こして掲載していますが、その意図は結論だけではなく、やり取りそのものも重要な部分で知って欲しいというところがあります。一方で先程も区連協係で短い議事メモを作って回しているというお話もあった通り、簡潔な方がいいというご意見もあろうかと思えます。また、あまり長いと読んでいられないという方もいらっしゃると思えます。個人の意見でかまわないので、「長いもの」「短いもの」「その他」の三択で挙手をお願いします。

結果：「長いもの」3名、「短いもの」10名以上、「その他」：「まず情報伝達、興味のきっかけとしてタイムリーに出して、更に深く知りたい方には逐語形式も重要だと思いますが、作られる役員の皆さんの負担もあるので、悩ましいです。」
頂いたご意見を元に検討していきたいと思えます。ありがとうございました。

5、6、行事関連、区外の状況〈全国研報告〉

役員 下村

バザーは10月6日に柳町児童館の横の区道で行いました。あいにく雨でしたが、何とか開催できました。参加団体は、向丘、白山東、柳町第二、千石第一・第二、窪町、白山東児童館親の会、OB父母のつどいです。各団体3,000円出していただいて、実行委員会の会場費、保険代、近隣挨拶、ポスター代等をまかないました。

続いて運動会ですが、来年の2月7日(金)に第一回の実行委員会を予定しています。会場は、第一希望を5月10日(日)、第二希望を5月6日(水)の連休の最終日を出して、抽選はまだ先なので決まっていますが、実行委員会までには決まる予定です。次に全国研の報告です。京都で開催され、区連協から12名が参加しました。私も参加して、文京区の学童保育は本当に恵まれているなど、今回も感じました。全国から目標にされているので、今皆さんに集まっていたということ自体がすごく意味があると思います。来年は10月10、11日に山形で開催予定です。

会長 越野

バザーについて補足します。ここ2年ほどCブロックという柳町の通りところのみの開催でしたが、工事の関係で使えなかった勤労福祉会館のAブロック会場が使えるようになるはずなので、多分来年はAブロックも開催となります。

役員 山口

絵画コンクールの報告は資料3をご覧ください。お陰様で昨年初めての絵画コンクールを開催しました。やろうと決めてから開催まであまり時間が無かったのですが、予想より多くの素敵な作品が集まり、皆さんに喜んでいただけたと思います。アンコール展示の際には岐阜からおばあちゃんとひいおばあちゃんが見に来てくれるなど、いい行事になったと実感することができました。今年は区の後援を取り付けて、グランプリとして区長賞を作ろうと思っています。これは行政に対するアピールにもなると思います。スケジュールとしては、12月に告知して、皆さんに絵を描いてもらって、2月上旬に提出締め切りと考えています。去年は全て役員の方でやりましたが、今年からは、一緒にやってみたいという方を募りたいと思います。作業としてはチラシを作って撒き、絵の回収、展示、撤収になります。具体的にはまたご案内いたしますので、よろしくお願いいたします。会場は昨年同様、「ぶんこうけん」の会場にしています。これは確実に場所が確保できることと、絵画コンクールに来た方に「ぶんこうけん」にも興味を持っていただきたいというところがあります。

「ぶんこうけん」というのは、一種の研究会で、午前中は講師の方の講演、午後は分科会で色々なテーマで話し合います。例えば、父母会の運営についてだったり、指導員の先生による育成室の生活の話だったり、子どもの育ちについて学んだり、子育ての困りごと相談だったりがありました。また、去年から児童館についての分科会を作りました。これは陳情書にも書いてありますが、ぜひ関心を持っていただきたいことです。アクティ等の放課後全児童事業が始まり、小学生の放課後の居場所は小学校にできたので、児童館の機能を見直すという話が、以前から行政内の一部でくすぶっています。ただ、小学校に居たくない子どもも中にはいて、自分の居場所を自分で選べるということは、子どもの権利のひとつであり、児童館が子どもの権利条約に基づくものである以上、その権利を大事にしていく必要があります。この様な趣旨で、児童館、子どもの放課後等についての分科会を追加しました。引き続き「ぶんこうけん」についてです。2月23日(日)、第三中で開催します。ぜひご興味を持っていただき、さらに応援、参加していただければ幸いです。

会長 越野

私からも全国研の報告をいたします。区連協の加盟率を上げる秘策が無いかと、「市町村の連絡協議会の活性化」という分科会に参加したのですが、行ってみたら加盟率を上げる方法を教えてくださいという人達ばかりで、答えはでなかったの

すが、去年、今年と参加して感じたことは、参加者の多くは、民設民営、すなわち保護者が自分で育成室を運営している人達で、補助金をどうやって取ってくるかとか、自治体にどうやって要求を通すのかといったことをベースにしている方々の連絡協議会の活動と文京区のような公設の連絡協議会の活動は土台が違い過ぎて、皆さんのお話が分からないことも多々あり、公設で、しかもただ運営するだけでなく、子ども達の幸せを考えて運営してくれている文京区の学童保育の状況は本当にありがたいことなのだと、この状況を守って行く活動が大事なのだと感じています。会長会についてですが、今までは年に1回だけでしたが、2月にもう1度会長会をやりたいと思っています。年1回の場合、今、育成室はこういう状況で、それを守り良くしていくためにこういう活動をしていきたいと思いますということをお伝えして、その後の1年間の活動の材料としてもらえればという趣旨で実施していました。年度末にもう1度やる意図は、約1年間の活動を終えて、反省点や問題点、その解決策等を共有し、また可能であれば次期会長候補の方も一緒に来られれば、生きた情報、意見の交換ができるのではないかと考えています。まだ、場所や日程は未定ですが、ひとつの案としては、ぶんこうけんの場所で教室をひとつ借りて実施することも検討しています。なるべく早めに決めてお知らせしますので、よろしくお願いします。「ぶんこうけん」の話に戻りますが、以前は区連協が主催していましたが、5～6年前に区連協の事業のスリム化を目的として、有志による実行委員会が主催することになりました。が、実際のところほぼ区連協の役員がやっており、区連協の主権に戻りたいと考えています。区連協の主権に戻したとしても、例えば、各父母会から2人ずつ出して手伝えというようなことは絶対にやりません。もちろん、手伝っていただけなのは歓迎です。メリットとしては、区連協は社会教育の登録団体なので区の後援が取りやすいことや、後援の申請にしても、区連協主催の絵画コンクールと実行委員会主催の「ぶんこうけん」を別々にする必要がなくなります。

質問の方

「ぶんこうけん」の主権をボランティアでなく、区連協主権に戻します、私達(各父母会)がやる事は変わらないので、承認できるか？ということですね？

会長 越野

そうです。よろしいでしょうか？

⇒拍手にて承認

7、その他〈今後のスケジュール〉

11月4日(月・振休) 13時半～16時 OB父母のつどい主催「卒室するってどういうこと？」
卒室を経験した保護者と現役の保護者の情報交換の場となっています。

11月24日(日) 10時～14時 OB父母のつどい主催「凧揚げ&芋煮会」

例えば、人数が減って父母会独自にイベントをやるのが大変な時に、父母会ごと芋煮会に参加して、懇親会代わりにもできますので、ぜひご活用ください。

1月17日(金) 19時～ 次回運営委員会

シビックセンターの4階 区民会議室の和室で開催する予定です。

以上

(2019年度区連協役員確認済)